

定対策事業がこの際どの様な効果を表しているか。また市として、今回の事態に、例えば生活資金などの利子補給や種^{タネ}粉^コ代の補助等、対策を検討すべきではないのか伺います。

市長 品目横断的経営安定対策には114団体が加入しています。今回の米価の下落に際しては、いわゆる「ならし」対策の中で、1俵千円程度の助成が期待されます。同対策の発動の要請とともに、何らかの対策を講ずるよう国や県に働きかけて行きたい。市としては推移を見極めながらしるべき対策を講じたい。



秋耕に励む農家（胆沢区）

質問 地区センター開設を今年4月とし、前沢、胆沢、衣川で昨年11月に説明会を開催されていま

すが、性急な感じがしてなりません。市民に理解がいきたることを見極める必要があります。

市長 これからの地域自治の在り方として、住民によるコミュニティと行政がそれぞれの立場で役割を果たすとともに官民連携による共同の街づくりが求められています。各地区の地域振興会の役割も重要でありその活動拠点として地区センターを整備したい。

説明会に先立ち、各区でそれぞれの地域にあった内容の構想案を作成し、臨みました。多くのご意見をまとめ、地区の事情に合わせ準備の出来たところから進めていきたい。



さとう しゅうこう
佐藤 修孝
議員

○CO₂の削減について
○林業振興について
○市営バス料金の均一化について

質問 環境問題は地球的規模であり、同時に人間一人一人の問題であります。13万市民に、市として啓発していることは何ですか。

市長 広報で、紙面の中の「環境一口情報」で多面的に取り上げている。今後も、広報活動や学習機会を提供し、CO₂削減のノウハウを市民に伝える。

質問 県の森づくり県民税を活用



バス料金片道最高900円の市営バス（江刺区）

用し間伐を推進すべきではないですか。また、市有林の活用策を明確にすべきではないですか。

市長 まだまだ枠がありますから振興局や森林組合と連携を密にして森づくりを推進する。市有林については、標準伐期^{きん}齢^{れい}を超えた森林が、江刺区を中心にたくさん存在し、今後計画的に伐採し、保育していく必要がある。現在の整備状況を取りまとめ、市有林整備計画を策定中である。木材価格が復活しつつあり、活用できる可能性があり、市の財産として計画的に活用していきます。

質問 市営バスの料金について
公共交通と重複しない路線については、限りなく均一にするべきではないでしょうか。

市長 平成20年に運行体系と路線の見直しをし、21年に実施の計画であるが県交通との重複路線、バス料金のバランス、利用者ニーズを把握しながら総合的に検討し、交通弱者の移動手段をしっかりと確保します。

○岩手競馬存続の見通し
○地球温暖化
対策について



えんどう さとし
遠藤 敏
議員

質問 来年度の岩手競馬存続の見通しはどうか。

市長 第3期2億9千万円のコスト削減を實踐し存続条件の本年度の収支均衡の見通しはたった。年末までには国に来年度の開催を申請する。

質問 収支均衡が破れ閉鎖する事になった場合、新たな負担は。

競馬対策室長 330億円の負担をして存続しているが、それに42億円プラスする事になる。

質問 地全協への交付金売り上げの1%、3億円前後と高い。各地方競馬連携して交渉すべき。

市長 地方競馬は多額の累積債務を負い、厳しい状況となっている。今後とも働きかけをする。

質問 温暖化対策は個人の取り組みでは続かない。行政区や地区